



2024年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月9日

上場会社名 株式会社ヒューマンクリエーションホールディングス 上場取引所 東
コード番号 7361 URL <https://hch-ja.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富永 邦昭
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 河邊 貴善 TEL 03 (5157) 4100
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第1四半期の連結業績（2023年10月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第1四半期	1,648	5.4	140	△3.7	139	△4.5	89	△10.9
2023年9月期第1四半期	1,563	14.6	145	70.4	145	69.9	99	150.4

(注) 包括利益 2024年9月期第1四半期 115百万円 (15.6%) 2023年9月期第1四半期 99百万円 (150.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第1四半期	54.34	54.25
2023年9月期第1四半期	58.35	-

(注) 2023年9月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載していません。

(参考) EBITDA：営業利益＋減価償却費＋その他償却費＋のれん償却費

EBITDA 2024年9月期第1四半期 170百万円 2023年9月期第1四半期 175百万円

調整後EPS：調整後四半期純利益（注）/期中平均株式数

（注）親会社株主に帰属する四半期純利益＋のれん償却

調整後EPS 2024年9月期第1四半期 69円54銭 2023年9月期第1四半期 72円89銭

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第1四半期	2,790	1,095	38.9
2023年9月期	2,963	1,061	35.5

(参考) 自己資本 2024年9月期第1四半期 1,084百万円 2023年9月期 1,052百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	-	-	-	51.00	51.00
2024年9月期	-	-	-	-	-
2024年9月期（予想）	-	-	-	52.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,785	20.0	717	2.8	714	1.9	438	0.0	267.66

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

連結業績予想については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社（社名）-、除外 -社（社名）-

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期1Q	1,926,550株	2023年9月期	1,926,550株
② 期末自己株式数	2024年9月期1Q	288,199株	2023年9月期	288,199株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期1Q	1,638,351株	2023年9月期1Q	1,712,040株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けの変更や行動制限の撤廃に伴う社会経済活動の正常化により、景気の持ち直しの動きが見られたものの、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念などの海外景気の下振れリスクが国内景気を下押しするリスクとなっており、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響も相まって、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

一方、当社グループの主要顧客である大手システム開発企業各社における受注環境は、デジタル化による業務プロセスの効率化や変革を目指すDX（デジタル・トランスフォーメーション）需要を背景として、引続き堅調に推移しており、当該案件を推進できるIT人材やDX人材に対するニーズも力強く推移していることから、当社グループの事業活動も順調に推移しているものと認識しております。

そうした状況の中、当社グループは、コンサルティング・受託開発領域への積極投資による技術力の向上、また、技術者派遣においては、案件に係る商流の改善や技術者の技術向上を図ることで派遣単価の改善に努め、新規顧客を開拓することで技術者の稼働率の維持、改善に努めてまいりました。

このような事業環境のもと、当社グループは中長期的な経営戦略として、将来に向けた成長基盤の拡充と人材の育成を掲げ、「業界有数の人財数」、「業界有数の技術力」、「オリジナルの制度に基づく人材育成力」の醸成に努めており、従業員を財産と考える当社グループは、優秀な人材を獲得することに止まらず、既存従業員への還元・急激な物価上昇等への対応として平均給与を引き上げるなど、「人的資本経営」を重視することによるオーガニック成長を推進してまいりました。さらには、2023年2月7日付で日鉄ソリューションズ株式会社、2023年4月25日付で株式会社アドバンスト・メディアと資本業務提携を締結したほか、2024年2月1日付で株式会社TARAを連結子会社化するなど、インオーガニックでの非連続的な成長の実現にも積極的に取り組んでまいりました。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,648百万円（前期比5.4%増）、売上総利益は464百万円（前期比1.3%増）と堅調に推移しました。販売費及び一般管理費に関しましては、主として人的資本経営を推進する一環として採用活動費が増加し、営業利益は140百万円（前期比3.7%減）、経常利益は139百万円（前期比4.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は89百万円（前期比10.9%減）となりました（子会社別の売上高は、株式会社ブレンナレッジシステムズ：921百万円、株式会社シー・エル・エス：302百万円、株式会社アセットコンサルティングフォース：187百万円、株式会社セイリング：104百万円、株式会社ヒューマンベース：72百万円、株式会社コスモピア：129百万円となっており、グループ内取引の相殺消去前の数値を記載しております。）。

なお、当社グループはシステムソリューションサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ172百万円減少し、2,790百万円（前連結会計年度末比5.8%減）となりました。投資有価証券の評価に伴う増加38百万円等により増加した一方で、貯蔵品の減少85百万円、法人税の納付等に伴う現金及び預金の減少67百万円、回収に伴う売掛金の減少39百万円、のれんの償却に伴うのれんの減少24百万円等により減少しております。

負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ206百万円減少し、1,695百万円（前連結会計年度末比10.9%減）となりました。未払金の増加44百万円、買掛金の増加21百万円等により増加した一方で、法人税の納付等に伴う未払法人税等の減少115百万円、賞与の支払に伴う賞与引当金の減少126百万円等により減少しております。

純資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ33百万円増加し、1,095百万円（前連結会計年度末比3.2%増）となりました。その他有価証券評価差額金の増加26百万円、利益剰余金の増加5百万円により増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の業績予想につきましては、2023年11月14日に「2023年9月期 決算短信」にて公表いたしましたとおりであり、当該業績予想に変更はありません。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,020,088	952,243
売掛金	756,634	717,168
契約資産	78,032	83,074
仕掛品	1,866	5,509
貯蔵品	85,926	-
その他	25,763	29,928
流動資産合計	1,968,311	1,787,924
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	73,539	73,539
減価償却累計額	△37,237	△38,981
建物附属設備 (純額)	36,301	34,558
工具、器具及び備品	36,942	39,742
減価償却累計額	△22,415	△23,395
工具、器具及び備品 (純額)	14,526	16,347
有形固定資産合計	50,828	50,905
無形固定資産		
のれん	540,965	516,078
その他	11,019	10,447
無形固定資産合計	551,984	526,526
投資その他の資産		
投資有価証券	123,915	162,003
敷金	75,292	78,063
繰延税金資産	167,414	155,609
その他	25,542	29,652
投資その他の資産合計	392,165	425,328
固定資産合計	994,978	1,002,760
資産合計	2,963,290	2,790,684

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	28,449	49,632
1年内返済予定の長期借入金	217,468	197,470
未払金	350,563	394,728
未払費用	168,921	178,306
未払法人税等	171,732	55,954
未払消費税等	140,775	136,995
賞与引当金	161,616	35,496
役員賞与引当金	2,912	-
その他	28,795	46,042
流動負債合計	1,271,232	1,094,627
固定負債		
長期借入金	423,875	389,516
退職給付に係る負債	142,476	147,059
その他	63,828	63,828
固定負債合計	630,180	600,404
負債合計	1,901,413	1,695,032
純資産の部		
株主資本		
資本金	193,661	193,661
資本剰余金	101,402	101,402
利益剰余金	1,368,222	1,373,703
自己株式	△591,768	△591,768
株主資本合計	1,071,518	1,076,998
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△19,040	7,385
その他の包括利益累計額合計	△19,040	7,385
新株予約権	9,399	11,268
純資産合計	1,061,877	1,095,652
負債純資産合計	2,963,290	2,790,684

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
売上高	1,563,832	1,648,906
売上原価	1,105,070	1,184,104
売上総利益	458,762	464,801
販売費及び一般管理費	313,377	324,778
営業利益	145,384	140,022
営業外収益		
受取利息	0	0
雑収入	1,683	275
営業外収益合計	1,683	275
営業外費用		
支払利息	1,040	939
為替差損	151	59
営業外費用合計	1,192	999
経常利益	145,876	139,299
税金等調整前四半期純利益	145,876	139,299
法人税等	45,978	50,263
四半期純利益	99,897	89,036
親会社株主に帰属する四半期純利益	99,897	89,036

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	99,897	89,036
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	26,425
その他の包括利益合計	-	26,425
四半期包括利益	99,897	115,461
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	99,897	115,461

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、見積実効税率を使用できない場合は、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、システムソリューションサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。